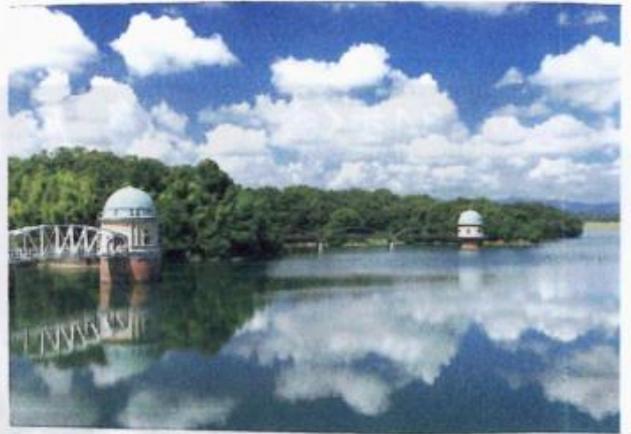


第26回 34歩く会

令和6年(2024年)11月15日(金)

我が街の多摩湖巡り

東大和市駅から多摩湖へ；新装なった上堰堤



3年以上続いたコロナ禍がやっと収まりつつあります。コロナ禍の最中は、外出や人の集まりなどが制限され、我々の「34歩く会」も中止せざるを得ず、空白の3年あまりでしたね。気がついたら我々は、もう80歳を超えておりますね。いつまでも元気に、そして懐かしい友との交流を更に深めて、ポケ防止のためにもと、ウォーキングを致しました。

今回は「34歩く会」の原点に戻り、第1回のコースを辿り、私達が生まれ育った東大和市のシンボルでもある多摩湖を散策致しました。コースは東大和市駅を出発して多摩湖を巡り、上北台駅までです。

コース

東大和市駅—(野火止用水)—水道道路分岐—新青梅街道—浄水場—武蔵大和駅—
 10:10 10:25 11:00 11:15 10:40

多摩湖の下堰堤南—下堰堤北(昼食)—多摩湖駅—(レオライナー)—西武球場駅—スキー場—
 12:00 12:40 13:25 13:30 13:46 13:55 14:05
 約 10,000 歩

—山口観音—多摩湖上堰堤—芋窪(豊鹿島神社)—慶性院—上北台駅 (約 19,000 歩)
 14:15 14:30 14:50 15:15 15:35 16:00



第26回34歩く会

多摩湖を巡る

2024年11月15日



東大和市駅を出発



野火止用水を歩く





浄水場のモニュメント



寒桜



明るい尾根路を歩く



多摩湖の下堰堤

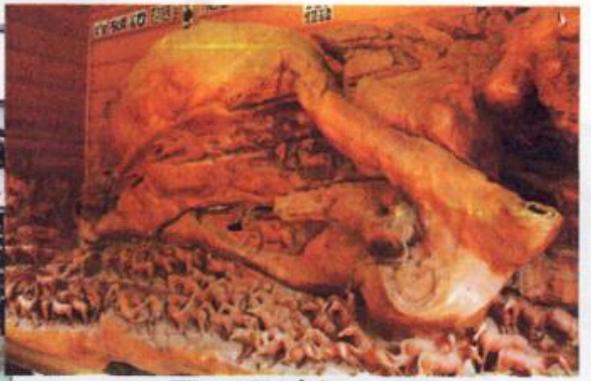


多摩湖畔

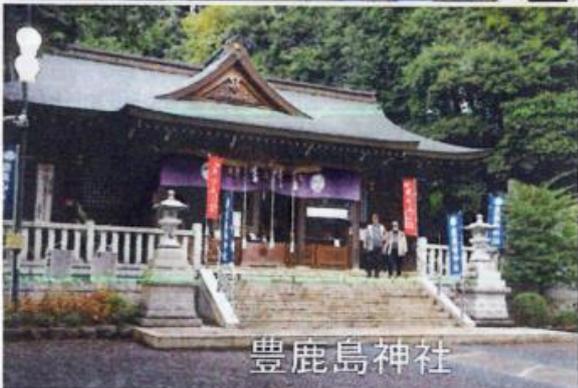
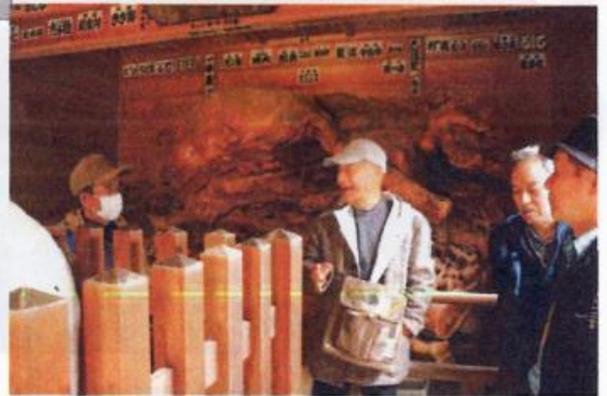




山口観音



馬の彫刻



豊鹿島神社



多摩湖の上堰堤



費 1,000円 26回
 4歩く会参加名簿 2024-11-11

氏名	連絡先・電話
若村亮治	
矢澤勝彦	
三澤淳	
石井元	
川鍋正義	



我が街の多摩湖巡り; 歩行記

東大和市駅から多摩湖へ; 新装なった上堰堤

今回は、「34歩く会」の原点に戻り、第1回のコースを辿って、私達が生まれ育った東大和市のシンボルでもある多摩湖を巡るコースを散策致しました。

昨晩は明け方まで雨が降っていたが、夜明けと共に雨が止み、暖かくなってきて、絶好のハイキング日和になってきた。

集合時間の30分前に、東大和市駅に行くと、もうザックを背負った人が待っていた。矢沢さんだ。久しぶりの再会で、話は弾む。矢沢さんは、お仕事に、スポーツに、旅行にと、毎日多忙な日を送っているという。明日は、仕事を終えてから車で富士市に行き、我々の同期の杉本さんのコンサート「イッセー」を聞き、更に彼と会食するという。

やがて、板橋から三澤さんが到着し、さらに若林さん、石原さんが合流した。お互いに久しぶりの再会で、話が弾み、暫し談笑が続く。

集合時間の10時になったが、集合したのは男性5名だけだ。毎回参加されている尾又さん達は、家庭の事情などで参加できないとのことだ。10時10分、元気いっぱい男性5名が、東大和市駅を出発! お互いに、おしゃべりが忙しくて、歩行スピードは上がらない。

野火止用水に沿って歩くと、誠にきれいな清水が流れている。この付近の方々が川を整備して、常に清流を保守しているのだろう。少し進むと、清流の側流を金網で囲っているところもある。ホタルの幼虫を飼育している処だ。初夏にはホタルが飛び交うのだろう。

やがて、野火止用水から分かれて、玉川上水から東村山浄水場への送水管の上に作られた遊歩道「水道道路」を歩く。この遊歩道は、極めて良く整備されており歩きやすく、真っ直ぐ伸びている。遊歩道の上には高圧送電線が走っている。遊歩道に面した家の庭には、バラの花が咲いていたり、黄色くなってきた袖やミカンの木が枝を伸ばしている。

遊歩道のあちこちには、芸術家が制作した種々の彫刻モニュメントが設置されている。モニュメントは、それぞれ東大和のよもやま話などに由来したもので、説明文が着いている。東大和市には27体のモニュメントが設置されているので、それらのモニュメントを訪ねて散策するのも楽しいのではないだろうか。

やがて新青梅街道を横断して、空堀川に出る。空堀川の右岸の遊歩道を歩いていると、川の中には沢山の鴨たちが魚を啄んでいる。釣りをしている人もいる。真っ白い大きな白鷺も何羽か見かけられ、飛び立つのが見られた。この川辺にはカワセミもおり、写真愛好家達もよく見かける。遊歩道から階段を降りて、河原を歩き、西武電車の鉄橋をくぐって、再び階段を登って、多摩湖自転車道に出る。この多摩湖自転車道は、多摩湖からの水を武蔵境浄水場へ送る送水管の上に作られたものだ。

東村山浄水場の脇に来ると、高さ2mほどの白いコンクリート製のモニュメントがある。その中心付近からは水が蛇行して流れるような溝が描かれている。これは源流と川に流れを表していると思われるが、我々男どもは想像たくましく、女性像を思い浮かべて、わいわいガヤガヤ談笑。遊歩道のその先には2本の桜の木があり、小さな花を沢山咲かせている。狂い咲きかもしれないが極めて沢山の花が、木全体に咲いているので、寒桜だ。

やがて西武線の武蔵大和駅を過ぎ、都立狭山公園に入る。予定では「太陽の広場」を経由するのだが、今日のコースは長いので、ショートカットして尾根路を登り、明るく歩きやすい路を快適に進む。

多摩湖の下堰堤に出て、取水塔をバックに記念写真を撮る。堰堤からは視野が開け、多摩湖が一望できて、東村山市から都心のビル群の方まで見渡せる。残念ながら、今日は曇天で奥多摩の山や富士山は見る事が出来なかった。

堤防を渡り終わった処は、我々が小学2年生の時に、遠足に来て集合写真を撮ったところだ。そのときの写真を持参したので、写真と見比べてみる。写真には田中卓爾先生が写っており、現場は改修されているが、コンクリート製の柵は当時のままに残っている。

堤防の脇の休憩所で、待ちに待った昼食をいただく。12:30 ここまでの歩行は約1時間半で、歩数は約1万歩だ。お弁当は、私はコンビニのオニギリだが、Yさんは今回も、豪華な奥様の手作り弁当を美味しく食べており、ウラヤマシイ!

今回のコースは距離が長いので、昼食の後は西武園の脇を通り、近くの西武線の多摩湖駅に行き、レオライナーで西武球場まで行くことにした。レオライナーは、ゴムタイヤの車輪で、乗客も少なかったので、静かで快適な乗り心地であった。片側には多摩湖がちらつき、片側にはゴルフ場が広がっている。

西武球場駅からは、西武球場の前を散策し、スキー場もオープンしているようなので、スキー場に入り中を覗いてみる。雪はゲレンデの全面には無かったが、スキーやスノボをやっている人が見られた。

スキー場からは、狭山湖への予定は変更して、山口観音寺に行くことにした。山口観音は、立派な仁王門がある古刹で、境内はよく整備されており綺麗だ。本堂の手前には、新田義貞の鎌倉責めにお供した馬が祀られた社がある。絵馬は赤い人參の形をしている。さらにその社の中には、100匹もの馬の彫像が安置されており、驚愕の勢いで見入ってしまった。なお、ここでも卑猥な三澤節が聞けた。山口観音は、真言宗豊山派の寺院であり、千手観音が祀られており、その昔、新田義貞が鎌倉責めの時に立ち寄って、戦勝を祈願したという。

我々の歩行の安全と益々の健康をお祈りして、本堂の伽藍を一周した。本堂の裏手には無数の水子地藏が祀られており、荘厳だ。また本堂の左脇には、七福神が祀られており、その隣には金乗院開山堂があり、長い病にならないよう「ぼっくりさん」と言う像が祀られている。

矢沢さんは、仕事の都合もあり、ここから家が近いので、ここでお別れした。

山口観音からは、高台に出て、左に西武球場やスキー場を見下ろしながら歩いた。さらに多摩湖遊歩道の橋の上に出ると、眼下に新装なった上堰堤が見下ろせた。多摩湖の上貯水池は、取水塔などの補強工事が行われているために、貯水量は極めて少なく、湖底が露出しており、大きな草などが密生している。

そして多摩湖遊歩道から、新装なった上堰堤の歩道に出る。以前は、歩道は湖面近くにあったが、新装なった歩道は車道よりも高い位置にあり、車が2車線で悠々走れるほどの幅広い路になっている。堤防の中程からは、上貯水池の湖底がよく見えて、大正時代に水没するまでであった蓮花寺や慶性院の寺のあった場所などが確認できた。

多摩湖からは、鹿島台を經由して豊鹿島神社に出た。神社には七五三の受け入れ体制が出来ていた。豊鹿島神社からは、青梅街道を横切り、芋窪の中心部を抜けて慶性院を右に見て、空堀川の遊歩道を歩き、ゴールの上北台駅に無事に到着した。

約6時間のゆっくりした歩行であったが、歩数は約19,000歩であった。

途中の休憩は、昼食の時だけであったが、全員元気で歩き続けて完歩した。

次回も、今回参加できなかった方々もご参加いただき、楽しく元気に歩きたいものですね。

我が街の三湖巡り

東大和市駅から多摩湖、狭山湖へ；新装なった上堰堤

3年以上続いたコロナ禍がやっと収まりつつあります。コロナ禍の最中は、外出や人の集まりなどが制限され、我々の「34歩く会」も中止せざるを得ず、空白の3年あまりでしたね。気がついたら我々は、もう80歳を超えておりますね。いつまでも元気に、そして懐かしい友との交流を更に深めて、ポケ防止のためにも、これからも一緒に歩きましょうね！

今回は、「34歩く会」の原点に戻り、第1回のコースを辿って、私達が生まれ育った東大和市のシンボルでもある多摩湖を散策致しましょう。

東大和市駅から野火止用水を東に進み、玉川上水から東村山浄水場への送水管の上に作られた遊歩道を歩きます。浄水場からは多摩湖からの水道道路を歩き、西武線の武蔵大和駅に出て、都立狭山公園に入ります。こもれびの差し込む明るい林の散策路を抜けると、広々とした太陽の広場に出ます。

美味しい空気を胸いっぱい吸い込んで、「たっちゃん池」を回り込んで、多摩湖の堰堤に上がります。多摩湖のシンボルである取水塔を左に見ながら堰堤を歩いて行くと、右には遙か向こうにスカイツリーが見え、左側には湖面の向こうに富士山も眺められます。

堰堤を渡りきると、私達が小学2年生(1951年)秋の遠足で記念写真を撮ったところに出ます。ここで一休みしたら、西武園を右に見て多摩湖の周囲道路の遊歩道を歩きましょう。遊歩道の左手には多摩湖の水面が木々の間から眺められ、右手には西武球場を往復するレオライナーの電車実も走っております。

遊歩道を、西武球場とスキー場を右に見て進むと、多摩湖の上堰堤を見下ろす橋の上に出ます。ここからもうひと頑張りして、遊歩道を歩き、狭山湖まで歩き、昼食と致しましょう。

昼食後は、当地の古刹である山口観音寺に寄り、さらに西武球場を左に見下ろしながら慶性門を経て上堰堤に出ます。この上堰堤は、耐震性などを強化するために数年かけて大改造しており、遊歩道が新しく整備されました。出来上がったばかりの遊歩道から、上貯水池と下貯水池を見ながら歩きましょう。

多摩湖の上堰堤からは、芋窪の豊鹿島神社を経由して、上北台駅に行きましょう。ここで解散！

(歩程距離； 約11km)

1. 開催日； 令和6年11月15日(金)10時集合
2. 集合場所； 東大和市駅
3. 歩行コース； トはトイレ

東大和市駅ト——武蔵大和駅ト——太陽の広場ト——多摩湖の堰堤ト——西武園——上堰堤歩道橋
10:00 11:00 11:20 11:30 12:00 12:30

——狭山湖ト(昼食)——山口観音寺ト——上堰堤——鹿島神社ト——上北台駅(解散)
12:45 13:15 13:45 14:00 14:30 15:00